

第20回 全日本自動車整備技能競技大会

福岡県チーム 優勝

平成27年10月10日（土）、東京ビッグサイトで開催された第20回全日本自動車整備技能競技大会に昨年の県予選を勝ち抜いた粕屋支部チームが福岡県代表として出場し、見事優勝の栄冠を勝ち取りました！



第20回 全日本自動車整備 技能競技大会

昨年の県大会で優勝した粕屋支部チームが県代表として全国大会に出場し、第11回大会以来18年ぶり3度目となる全国優勝を果たしました。また、今回の全国大会は第20回目という節目のため、過去に優秀な成績をおさめた振興会が表彰される「特別表彰式」があり、当県は“特別功労賞”を受賞し、全国優勝とあわせての栄誉となりました。

整備士の祭典ともいえるこの大会は、全国から53チーム106名の選手が一堂に介し、技術力及びお客様との応対力を90分の競技時間で競います。出場した谷口修平選手、常岡兼次選手は前回（第19回）の大会で入賞を逃した悔しい思いを胸に、約半年間にわたる教育・訓練を実施して競技に臨みました。



競技は「アドバイザー競技（受入／問診）」、「実車競技及び基礎競技」、「アドバイザー競技（納車説明）」の流れで行われ、時間配分は選手が自由に設定し進めていきます。得点は、実車競技700点、基礎競技100点、アドバイザー競技200点の合計1000点満点で審査されます。

号砲が鳴り競技がスタートすると、各県の応援者の“ワァーッ”という歓声が会場内に響き場内の熱気がぐんぐん上がっていききました。初めに谷口選手がお客様へ問診を行い、その問診をもとに実車の点検に取り掛かります。実車競技では、不具合が8箇所設定（エンジン側4箇所、シャシ側4箇所）されており、お客様からのご用命事項である1年定期点検と日常点検を行いながら、故障探求を進めていきます。教育・訓練の成果を存分に発揮し、次々と不具合箇所を見つけて修復するごとに応援席から、拍手と歓声がわき上がっていました。

基礎作業はブレーキ・ディスクの点検が出題され、FAINESを活用して作業要領を探し出し、正確な点検作業ができるかがポイントです。教育・訓練で繰り返し練習したFAINESは難なくクリア。マイクロメータの取扱いも練習していましたが落ち着いて測定していました。最後は実車を使用し、故障箇所と納車説明を行います。常岡選手が明瞭かつ丁寧な説明を行い、審査員からの質問にもしっかり答え理想通りの時間で競技を終えました。



表彰式では、最初に「特別表彰式」が行われ、福岡を含めた8県に“特別功労賞”として盾が授与されました。

続いての競技大会表彰式では、入賞チームの得点とチーム名が8位から4位まで続けて発表され、その後、3位と準優勝の表彰が行われましたが、高得点を確信していた応援団は、「若しかしたら」との期待が膨みました。

そして優勝チームの発表となり、「得点、970点」と発表されると、これまでにない高得点に「お〜」という歓声が上り、「優勝は福岡県チーム」と発表されると、大きな拍手と歓声に包まれました。

また、表彰式終了後には、各県の皆さんから高得点での優勝に対して「さすが福岡県、おめでとう」という祝福もいただきました。

優勝という栄冠を勝ち取ることができたことに、粕屋支部を始め応援に来ていた方々は大変盛り上がり、選手は心底ホッとしている様子でした。全国大会に向けてご協力いただき激励して下さった関係者の皆様に深く感謝いたします。



第20回 全日本自動車整備技能 競技大会を振り返って

谷口修平 選手



今回の大会に向けて、家族、会社、粕屋青年部の皆さんや、整備振興会教育課の方々など多くの方からの力添えのもと、優勝を目指し、チーム一丸となって拵んだ日本一だと思います。

そして、前回大会で共に戦った常岡君とリベンジが果たせた事に感激しました。

これからも挑戦する気持ちを忘れず、メカニックとして技術向上に励んで行きたいと思います。

貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

常岡兼次 選手



今回の全国大会優勝という結果は、整備振興会教育課の皆さん、粕屋支部の皆さん、そしてパートナーである谷口さん、又大会に送り出してくれた会社の皆さんのおかげです。

皆さんに深く感謝しています。ありがとうございました。

今回の大会で学んだ事、練習期間中に学んだ事は自分の貴重な財産になりました。今後は優勝したというプレッシャーに負けない様に日々努力していきたいと思っています。

満点 1000点 / 平均点778.0点

順位	振興会	得点	選手名	
優勝	福岡県	970	谷口 修平 選手	常岡 兼次 選手
			(有)藤壺自動車工業	西鉄エム・テック(株)福岡工場
準優勝	岐阜県	951	浅野 道昭 選手	丹羽 慶一 選手
第3位	島根県	923	田中 賢 選手	小川 和良 選手
第4位	兵庫県	920	山下 一志 選手	西山 郡胤 選手
第5位	栃木県	917	植木 啓之 選手	山本 雅史 選手